

平成 25 年度大阪医科大学医師会総会報告

中央検査部 村尾 仁

日 時 : 平成 24 年 6 月 10 日 (月) 18 時 00 分～
場 所 : 第 2 会議室 (総合研究棟 12 階)
議 長 : 森脇 真一 (副会長)
出席者 : 竹中、米田、森脇、田中、梶本、上杉、萩森、石田、
樋口、浮村、内山、岡田、西本、上田、亀谷、東、
寺崎、臼田、村尾、玉井、鳴海、元村 (敬称略)
(出席者 22 名、委任状 236 名 計 258 名
医師会員数 488 名の過半数により会議成立)

1. 平成 24 年度事業報告 (米田会長)

1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が 490 名 (平成 23 年 5 月 31 日現在) となり、前年度末より 35 名増となった。

研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、大阪府医師会久禮理事が医賠責保険等について説明し、勧誘を行った。

日本医師会生涯研修制度は、医師免許生涯交付のために医師が自主的にしっかり研修していることを示す大切な制度である。研修会参加時には、必ず大阪府医師会生涯研修チケットを提出するよう指示があった。

大阪医科大学医師会ホームページから資料請求・住所変更を行えるように、機能を追加した。

2) 大阪医科大学医師会の学術活動

「大阪医科大学医師会報」を 2 号発行した。第 38 号は「感染症防止ネットワーク」は特集とし、会員にタイムリーに情報を伝えるために、例年より 1 か月早い 8 月 15 日に発刊した。第 39 号 (3 月 15 日発行) では「医師のキャリア形成プランと大学の役割」を特集として掲載した。

学会等助成は、平成 23 年度に選考した平成 24 年度分 4 学会に各 10 万円計 40 万円を助成し、6 月 11 日大阪医科大学医師会総会内で受賞式を行った。10 月に平成 25 年度分の公募を行い、12 月 4 日に選考を行い、5 学会に助成することを決定した。

12 月 15 日 (土) に開催された「平成 24 年度医学生、研修医等をサポートするための会」において、本学の 5 名の女性医師が「医師の仕事と子育ての両立。私の体験」について発表した。

北摂四医師会医学会総会が、6 月 16 日 (土) に大阪医科大学臨床第Ⅱ講堂で開催され、特別講演 1 題、一般演題 10 題の発表があった。北摂四医師会分科会は、「三島感染症研究会」が新設され分科会数は 18 となり、研究会を計 13 回開催した。

産業医講習会も3回開催した。北摂四医師会医学会記録集は冊子体としての発刊は前年度をもって終了し、今年度よりホームページに掲載する。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックは、ブロック委員会4回開催し、積極的に活動した。北摂四医師会医学会総会一般演題の中から優秀演題賞を3題選出して5万円ずつ賞金を授与した。1月12日に開催した第2ブロック研修会では、「病院での認知症患者の対応について」講演を行い、33名の参加があった。

3) 大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

大阪府医師会の郡市区等医師会長協議会や代議員会、各種部会や委員会に積極的に参加した。

11月14日に在阪5大学医師会役員と勤務医部会役員との懇談会が開催され、意見交換を行った。

3. 平成24年度会計報告・会計監査報告（白田会計）

全会一致で承認された。

4. 平成25年度事業計画（河野会長）

1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が493名（平成25年5月31日現在）となった。

4月2日に開催された研修医の入職時オリエンテーションで大阪府医師会西本理事が医賠償保険の重要性について説明し、医師会への勧誘を行った。

河野会長（衛生学・公衆衛生学）の退職に伴い、4月11日に開催した理事・評議員会で承認された新役員の紹介を行った。

2) 大阪医科大学医師会の学術活動

例年通り、「大阪医科大学医師会報」（年2回発行）、会報38号は特集として「感染対策の地域ネットワーク」を掲載する予定である。

学会等助成金は、昨年度選考した5学会に各10万円計50万円を助成し、平成25年度助成公募を10月1日より1か月間行う。

北摂四医師会医学会は、6月15日（土）に第22回医学会総会が大阪医科大学医師会の当番で実施される。分科会では、「画像診断研究会」が閉会され、活動を休止している他の分科会については継続するかどうか検討を行う。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックでは、昨年度に引き続き積極的に活動を進めている。北摂四医師会医学会総会一般演題優秀演題賞3題を選考し、各5万円の褒賞を出す。また、第2ブロック研修会を1月11日（土）に予定している。事務局は引き続き大阪医科大学医師会内に設置し、業務は高槻市医師会と共同で行うこととなった。

3) 在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

在阪5大学医師会との懇談会への参加は元より、高槻市・茨木市・摂津市医師会との連携を深めていく。

例年通り、大阪府医師会郡市区等医師会長協議会、大阪府医師会代議員会、大阪府医師会各種委員会、ならびに全国大学医師会連絡協議会等にも参加する。

5. 平成 25 年度予算案（臼田会計）

臼田会計より前年度と同じ事業を展開するための予算案の提示があった。単年度でみると赤字であり、来年度以降も同等の支出を続けると数年で資金が枯渇する可能性が示唆された。

今年度予算案は、全会一致で承認された。

6. その他（米田会長）

1) 平成 25 年度学会等助成金贈呈式の実施

選考された 4 つの学会の会長に、助成金の目録を贈呈した。

2) 医賠償保険の加入について

医賠償保険に加入していないのはたいへん危険なことである。大阪医科大学で勤務している医師全員に、日本医師会以外の医賠償保険も含めて医賠償保険に加入しているかどうか、調査することとなった。

5) 事業監査について

竹中顧問より、会計監査だけでなく事業監査も行う必要があるのではないか、と意見があり、事業監査実施に向け、検討をおこなうこととなった。

以上